

19年周期表

対応年	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997
	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
周期番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
外的作用	受容	放出	交流	再生	放出	調整	始動	露呈	受容	成長	露呈	再生	放出	調整	再生	露呈	調整	成長	露呈
作用強度	+1	+3	+1	+4	+1	+4	+1	+4	+2	+4	+2	+3	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+4
内的作用	始動	露呈	受容	成長	交流	再生	放出	調整	始動	露呈	調整	成長	露呈	再生	放出	交流	再生	放出	調整
作用強度	+1	+4	+1	+4	+1	+4	+1	+3	+2	+2	+2	+2	+3	+2	+2	+2	+4	+2	+4
反映結果	内外再生	内外放出	内外調整	内外始動	内外露呈	内外受容	内外成長	内外交流	内的再生	内的放出	外的調整	内的始動	外的露呈	外的受容	内的成長	外的交流	内的受容	外的成長	内外交流
結果強度	極	強	並	極	並	極	並	強	中	強	中	中+	中+	中	中	中	強	中	極
高次顕現 ・ 次元上昇	★	○		★			○			○		★			★			○	

【拡大図】 夏至・冬至と作用・結果の位置関係を忠実に反映した表

対応年	2022		2023		2024		2025		2026			
周期番号	5		6		7		8		9		10	
	下降期	上昇期	下降期	上昇期	下降期	上昇期	下降期	上昇期	下降期	上昇期	下降期	上昇期
外的作用	放出	調整	調整	始動	始動	露呈	露呈	受容	受容	成長	成長	露呈
作用強度	+1	+4	+4	+1	+1	+4	+4	+2	+2	+4	+4	+2
内的作用	交流	交流	再生	再生	放出	放出	調整	調整	始動	始動	露呈	露呈
作用強度	+1	+1	+4	+4	+1	+1	+3	+3	+2	+2	+2	+2
反映結果		内外露呈並		内外受容極		内外成長並		内外交流強		内的再生中		内的放出強
高次顕現 ・ 次元上昇				○						○		

★ 高次顕現=宿命的な因果関係の可視化

生まれる前から定められていた、人生に配置された関係・役割・出来事などの構造が、人生の進行の中で**現実の出来事として現れる現象**。それは新しく作られるものではなく、定められていた**配置が表面化する**。「人生の途中で突然現れるが、強い必然性を持つ出来事」

○ 次元上昇=前提の更新

物事の見方や判断基準など、世界を理解するための**内的な前提が更新されること**。それまで当たり前だった常識やルール、価値観が切り替わり、新しい前提で世界を捉えるようになる。その変化に伴って、生活環境や人間関係、役割などの**外的構造も変化していく**。

「高次顕現」が**宿命的な配置が現実に現れる現象**
 「次元上昇」は**世界的前提そのものが更新される現象**

	<p>夏至は、未来生成の極点である。</p> <p>この地点で、これから展開していく未来の方向が定まる。</p> <p>可能性や関係の種が出そろい、次の段階へ向かう準備が整う。</p>	
春分 内的成長の自覚/下降期の精神的受容の結果		秋分 外的成長の顕在化/上昇期の社会的行動の結果
	<p>冬至は、現実構築の完成点である。</p> <p>下降期を通して配置されてきたものが一つの形として完成し、その年の現実の構造が確定する。</p>	
<p>**上昇期(冬至～夏至)**は、未来生成へ向かう展開の期間である。</p> <p>現実として完成した構造の上で、下降期に生まれた構想や計画が行動として実行され、現実の中で様々な展開が生まれていく。(外的には行動や展開が起こり、内的にはその体験を通して理解や抽象化が進む段階。)</p>	<p>**下降期(夏至～冬至)**は、現実構築の期間である。</p> <p>夏至で定まった未来の構造が、現実世界に配置されていく。</p> <p>人・出来事・役割などが現実の中で形を持ち、構造として組み上がっていく。(考え方や関心が変わり、その方向に向かう構想や計画が生まれやすい段階。)</p>	

